

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大戸屋ホールディングス

コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三森 久実

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長 (氏名) 濱田 寛明

TEL 0422-26-2600

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,983	9.3	243	60.4	257	121.4	21	△84.4
25年3月期第2四半期	10,047	6.4	151	39.3	116	40.2	136	△54.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 90百万円 (△54.6%) 25年3月期第2四半期 199百万円 (△39.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.95	2.95
25年3月期第2四半期	23.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,955	4,031	40.3
25年3月期	10,747	4,156	38.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,011百万円 25年3月期 4,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,940	12.5	680	38.5	640	44.8	270	5.1	37.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	7,180,000 株	25年3月期	7,180,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	137 株	25年3月期	137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	7,179,863 株	25年3月期2Q	5,799,863 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権の金融緩和をはじめとする経済政策による経済成長への期待から、円安、株高が定着しつつあり、個人消費の回復、賃上げへの兆しがみられる等、先行き明るい見通しがみられた反面、新興諸国の景気減速懸念等から先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましても、引き続き消費マインドに回復の傾向があるものの、円安の進行に伴う食材価格の高騰により一部商品の値上げや、同業他社や中食業態との競争激化により引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、国内・海外合計500店舗体制への基礎作り元年と位置づけ、店舗価値のさならる向上を図るべく引き続き、成長のための施策を実施しております。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営5店舗、フランチャイズ9店舗を新規に出店し、海外におきましては、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店をタイ王国で2店舗、及びインドネシア共和国で1店舗を新規に出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間中に合計17店舗を出店、1店舗を閉店したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で363店舗（うち国内直営147店舗、国内フランチャイズ144店舗、海外直営10店舗、海外フランチャイズ62店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,983百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益243百万円（同60.4%増）、経常利益257百万円（同121.4%増）となりましたが、国内における既存店舗の改装に係る固定資産除却損23百万円、海外直営事業において減損損失58百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が155百万円となったため、四半期純利益は21百万円（同84.4%減）となりました。

なお、本年8月21日に開示いたしました「お客様への漂白剤希釈液誤提供についてのお詫びとお知らせ」のとおり、大戸屋ごはん処店舗において漂白剤の希釈液を誤ってお客様に提供してしまうという事案が発生しました。被害に遭われましたお客様及び関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

弊社といたしましては、厳格な再発防止策を講じ、お客様の信頼回復に向けて全力を尽くす所存です。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」5店舗（田端アスカタワー店、新所沢店、小田急マルシェ相武台店、亀戸駅前店、練馬駅南口店）の新規出店があり、また、国内フランチャイズ事業でありました1店舗（イオン茨木店）について国内直営事業としております。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」145店舗、「おとや」1店舗、「大戸屋ダイニング」1店舗の総計147店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は7,120百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益194百万円（同11.1%増）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」9店舗（湘南モールフィル店、アリオ仙台泉店、ノースポートモール店、福岡飯倉店、イオンモール佐野新都市店、千葉マリソピア店、宮古島店、イオンタウン名西店、大分別府店）の新規出店がありましたが、1店舗（イオン茨木店）が国内直営事業となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」144店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,969百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益415百万円（同17.3%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、10店舗（香港大戸屋有限公司が香港に5店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に1店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗）稼働しておりますが、前連結会計年度に連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司を株式売却により連結除外したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は731百万円（前年同期比22.1%減）、営業損失128百万円（同0.8%増）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、62店舗（タイ王国において37店舗、台湾において17店舗、インドネシア共和国において6店舗、中国上海市において2店舗）を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は148百万円（前年同期比74.2%増）、営業利益47百万円（同93.0%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社大戸屋（上海）餐飲管理有限公司につきましては、当第2四半期連結累計期間において持分法による投資損失18百万円を計上しております。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であり、当第2四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Yフィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y食ライフ研究所が食育事業を、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は12百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比142.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,416百万円を主なものとして3,628百万円(前連結会計年度末比23.3%減)、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,912百万円と敷金及び保証金1,647百万円を主なものとして6,327百万円(同5.2%増)であり、資産合計では9,955百万円(同7.4%減)となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,008百万円、買掛金793百万円及び未払金604百万円を主なものとして3,043百万円(前連結会計年度末比8.0%減)、固定負債は、長期借入金1,577百万円を主なものとして2,880百万円(同12.3%減)であり、負債合計では5,923百万円(同10.1%減)となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,031百万円(前連結会計年度末比3.0%減)となり、自己資本比率は40.3%となりました。これは主に、利益剰余金が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により294百万円を獲得し、投資活動により570百万円を使用し、財務活動により795百万円を使用した結果、2,302百万円(前連結会計年度末比31.3%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は294百万円(前年同期比21.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益186百万円を計上し、減価償却費409百万円等の非資金的費用がありましたが、仕入債務の増加による支出85百万円、法人税等の支払による支出245百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は570百万円(前年同期比0.4%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出504百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は795百万円(前年同期は517百万円の調達)となりました。これは主に、借入による収入が30百万円ありましたが、借入金の返済による支出が523百万円と配当金の支払額213百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては本日(平成25年11月8日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,464,865	2,416,081
売掛金	590,212	559,697
原材料及び貯蔵品	45,601	65,240
その他	629,863	587,232
流動資産合計	4,730,541	3,628,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,519,644	2,515,868
その他(純額)	1,189,564	1,396,988
有形固定資産合計	3,709,208	3,912,857
無形固定資産		
のれん	32,081	24,453
その他	71,316	82,112
無形固定資産合計	103,397	106,565
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,607,144	1,647,311
その他	597,166	660,369
貸倒引当金	△19	—
投資その他の資産合計	2,204,291	2,307,681
固定資産合計	6,016,897	6,327,103
資産合計	10,747,439	9,955,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	873,144	793,333
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,015,155	1,008,222
リース債務	154,232	165,971
未払金	675,189	604,564
未払法人税等	196,841	159,385
賞与引当金	44,164	64,679
店舗閉鎖損失引当金	6,642	—
その他	329,124	247,090
流動負債合計	3,304,494	3,043,246
固定負債		
長期借入金	2,051,856	1,577,152
リース債務	364,674	386,307
退職給付引当金	200,404	211,151
資産除去債務	282,742	294,210
その他	387,128	411,667
固定負債合計	3,286,806	2,880,490
負債合計	6,591,300	5,923,736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,024	1,465,024
資本剰余金	1,383,224	1,383,224
利益剰余金	1,293,589	1,099,391
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,141,716	3,947,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,825	7,192
為替換算調整勘定	△4,133	56,585
その他の包括利益累計額合計	4,691	63,778
新株予約権	612	980
少数株主持分	9,118	19,342
純資産合計	4,156,138	4,031,619
負債純資産合計	10,747,439	9,955,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,047,535	10,983,033
売上原価	4,133,983	4,609,286
売上総利益	5,913,551	6,373,747
販売費及び一般管理費	※ 5,761,798	※ 6,130,279
営業利益	151,753	243,468
営業外収益		
受取利息	2,401	896
受取配当金	1	471
協賛金収入	15,057	19,335
為替差益	—	33,059
その他	14,334	8,237
営業外収益合計	31,795	62,000
営業外費用		
支払利息	32,452	28,575
為替差損	8,092	—
持分法による投資損失	25,693	18,650
その他	894	501
営業外費用合計	67,133	47,727
経常利益	116,415	257,741
特別利益		
子会社株式売却益	313,768	—
店舗売却益	—	9,574
その他	146	1,180
特別利益合計	313,914	10,754
特別損失		
固定資産除却損	37,391	23,005
減損損失	37,676	58,352
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8,128	—
その他	—	188
特別損失合計	83,196	81,546
税金等調整前四半期純利益	347,134	186,948
法人税等	211,648	155,764
少数株主損益調整前四半期純利益	135,486	31,184
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△557	9,985
四半期純利益	136,043	21,198

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,486	31,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	△1,632
為替換算調整勘定	63,834	52,143
持分法適用会社に対する持分相当額	333	8,814
その他の包括利益合計	64,062	59,325
四半期包括利益	199,548	90,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,267	80,285
少数株主に係る四半期包括利益	△718	10,224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,134	186,948
減価償却費	377,391	409,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△140	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,676	20,327
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	4,505	△7,223
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△948	10,746
受取利息及び受取配当金	△2,402	△1,367
支払利息	32,452	28,575
持分法による投資損益(△は益)	25,693	18,650
店舗売却損益(△は益)	—	△9,574
子会社株式売却損益(△は益)	△313,768	—
固定資産除却損	37,391	23,005
固定資産売却損益(△は益)	—	△992
減損損失	37,676	58,352
売上債権の増減額(△は増加)	16,191	32,496
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,440	△18,879
前払費用の増減額(△は増加)	△19,025	△53,328
未収入金の増減額(△は増加)	△10,829	△2,352
仕入債務の増減額(△は減少)	30,535	△85,188
未払金の増減額(△は減少)	△49,200	△70,025
未払費用の増減額(△は減少)	16,698	△11,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	△113,207	△50,064
未収消費税等の増減額(△は増加)	140,010	26,077
その他	49,205	44,664
小計	610,600	549,238
利息及び配当金の受取額	2,224	899
利息の支払額	△33,228	△28,397
法人税等の支払額	△204,887	△245,209
法人税等の還付額	—	17,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,708	294,356

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△2,008	△20,350
貸付金の回収による収入	9,909	7,032
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入(△は支出)	17,864	—
関係会社株式の取得による支出	△30,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(△は支出)	△56,843	—
有形固定資産の取得による支出	△385,066	△504,784
有形固定資産の売却による収入	—	3,480
無形固定資産の取得による支出	△28,388	△160
長期前払費用の取得による支出	△18,217	△30,963
敷金及び保証金の差入による支出	△36,405	△32,832
敷金及び保証金の回収による収入	15,645	22,373
店舗売却による収入	—	40,943
その他	△58,275	△54,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,286	△570,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	—
短期借入金の返済による支出	△5,000	△10,000
長期借入れによる収入	1,200,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△537,327	△513,900
リース債務の返済による支出	△62,023	△87,638
少数株主からの払込みによる収入	5,145	—
配当金の支払額	△113,744	△213,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	517,050	△795,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,807	22,422
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	333,281	△1,048,783
現金及び現金同等物の期首残高	1,539,616	3,350,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,872,898	※ 2,302,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,533,201	2,483,962	939,718	85,407	10,042,290	5,245	10,047,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	123,622	123,622
計	6,533,201	2,483,962	939,718	85,407	10,042,290	128,867	10,171,157
セグメント利益又は損失(△)	175,430	353,894	△127,978	24,767	426,112	5,176	431,289

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	426,112
「その他」の区分の利益	5,176
セグメント間取引消去	△24,923
全社費用(注)	△254,612
四半期連結損益計算書の営業利益	151,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」及び「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、それぞれ、12,283千円及び25,393千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、食育事業に関する事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、28,000千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,120,920	2,969,089	731,584	148,742	10,970,337	12,696	10,983,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	153,932	153,932
計	7,120,920	2,969,089	731,584	148,742	10,970,337	166,629	11,136,966
セグメント利益又は損失(△)	194,895	415,127	△128,988	47,794	528,829	19,470	548,300

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	528,829
「その他」の区分の利益	19,470
セグメント間取引消去	△42,262
全社費用(注)	△262,568
四半期連結損益計算書の営業利益	243,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては58,352千円であります。